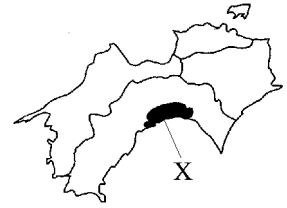


第 12 章	社会(地理)	名前:	日 付	No.02
	中国・四国地方			

[問題 1]

図中の X の平野に関する次の文の①～④に適語を入れよ。

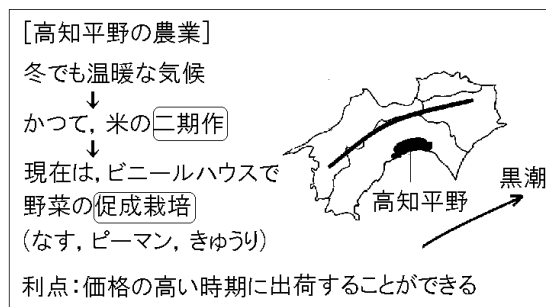
この平野では、(①)気候を利用して野菜を通常より早く育てる(②)栽培がさかんである。主な作物は、きゅうりやなすや(③)で、(④)ハウスも利用されている。



[解答欄]

①暖かい	②促成	③ピーマン	④ビニール
------	-----	-------	-------

[解説]



高知平野は冬でも温暖である。これは、暖流である黒潮(日本海流)が沖合を北上しているためである。

高知平野では、かつては温暖な気候を利用した米の二期作がさかんであった。(二期作とは1年間で同じ耕地で同じ作物を2度作ることである。)

しかし、現在では、温暖な気候を利用して野菜の出荷時期を早める促成栽培がさかんである。

たとえば、なすは冬から春にかけては、露地栽培ものが季節はずれになるため、値段が高くなる。

冬から春にかけて出荷できるようにビニールハウスを利用して生長を早める促成栽培を行い、鮮度を保つための冷凍庫のついたトラックで東京や大阪などの大都市へ出荷している(高速道路網の発達によって輸送時間が短縮されたため、野菜の鮮度を保つことができるようになった)。

このようなビニールハウスなどの施設を使った農業を施設園芸農業という。

高知平野で促成栽培している野菜としては、なす(高知県のなすの生産は日本1位)、ピーマン(日本3位)、きゅうりなどがある。(2011年)

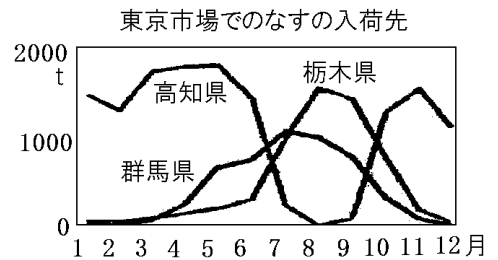
(統計出典)「日本国勢図会 2013/2014」P167

[問題 2]

高知平野では、なす・ピーマン・きゅうりなどの促成栽培がさかんである。

- (1) 促成栽培とはどのような栽培方法か。
- (2) なぜ、促成栽培が行われているのか、右の資料を参考に説明せよ。
- (3) 高知平野以外で促成栽培がさかんな地域を、次の[]から選べ。

[宮崎平野 鳥取平野 長野盆地 仙台平野]



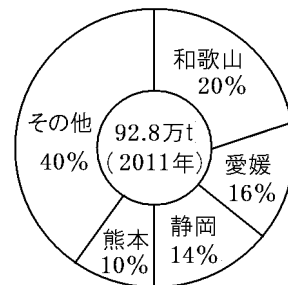
[解答欄]

- | |
|---|
| (1) 出荷時期を早める工夫をした栽培方法。 |
| (2) 生長を早めることにより、他の地域の生産量が少ない時期に高い値段で売ることができるから。 |
| (3) 宮崎平野 |

[問題 3]

右のグラフは愛媛県でさかんに栽培されているある作物の生産を表している。この作物は何か。下の[]から選べ。

[みかん 米 茶 さつまいも]



[解答欄]

みかん

[解説]

瀬戸内地方の温暖な冬と、雨の少ない乾燥した夏の気候は、みかんなどの果実の栽培に適している。愛媛県の海岸沿いの段々畑ではみかんが栽培され、全国で2位の生産をあげている。

*みかんの生産順位(2011年)

和歌山県(20%)、愛媛県(16%)、静岡県(14%)、熊本県(10%)、佐賀県(6%)、長崎県(6%) (統計修正)「日本国勢図会 2013/2014」P163



[問題 4]

地図を見て、次の各問いに答えよ。

- (1) 地図中の X ではみかんの栽培がさかんである。X の地域をはじめ瀬戸内海沿岸では果実栽培がさかんであるが、それはなぜか。説明せよ。
- (2) X がある県の名前を書け。



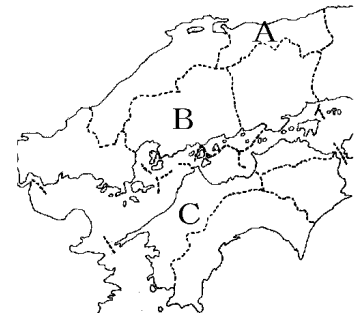
[解答欄]

- | |
|---------------------------------------|
| (1) 温暖な冬と雨の少ない乾燥した夏の気候が、果実栽培に適しているから。 |
| (2) 愛媛県 |

[問題 5]

中国・四国地方の農業や漁業について述べた次の各文の下線部について、正しければ○を、間違っていれば正しい語句を書け。

- ① A 県では、砂漠化の防止に役立つ農業技術が開発された。
- ② B 県のおだやかな湾では、ホタテの養殖がさかんである。
- ③ C 県では、温暖な気候を利用し、山の斜面や瀬戸内の島々でなしの生産がさかんである。



[解答欄]

①○	②かき	③みかん
----	-----	------

[解説]

[瀬戸内海の育てる漁業]
波の静かな海域が多い→養殖漁業
広島県のかき、愛媛県のまだい

複雑な海岸線に囲まれ、多くの島がある瀬戸内海は、波の静かな海域が多いため、養殖漁業に適している。特に、広島県のかきや愛媛県のマダイの養殖は、全国有数の生産量をほこっている。養殖漁業は育てる漁業の典型である。これらの水産物は、トラックやフェリーでおもに近畿地方や関東地方へ出荷されている。

[問題 6]

中国・四国地方の工業について、右の地図を見て次の各問いに答えよ。

- (1) X の工業地域を何というか。
- (2) 次の文章の①、②にあてはまる語句を、下の[]からそれぞれ選べ。

X の工業地域は、原燃料が重い石油化学工業や(①)業などの(②)工業の立地に適している。

[重化学 軽 鉄鋼 IC]

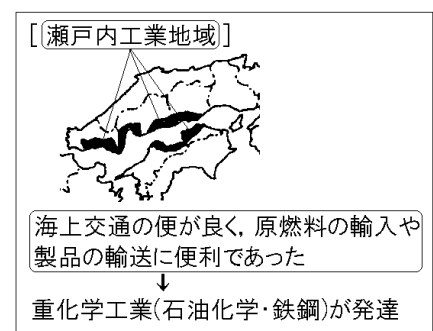


[解答欄]

(1) 瀬戸内工業地域	(2)①鉄鋼	②重化学
-------------	--------	------

[解説]

瀬戸内工業地域は、石油化学や鉄鋼などの重化学工業を中心として、戦後発展した。発展の理由は、第一に海上交通の便がよく、海外からの原燃料の輸入や製品の輸送に便利な港湾にめぐまれていたことである。(原料や製品が重い鉄鋼業や石油化学工業では、輸送コストがかかりすぎる内陸部には立地しにくい。船による海上輸送は鉄道やトラックによる陸上輸送よりもはるかに費用が安くすむ。)北九州工業地帯と阪神工業地帯の中間という有利な位置にあったこともプラスであった。発展の理由の第二は、広い埋め立て地や塩田跡地などの工業用地にめぐまれたことである。



[問題 7]

次の各問いに答えよ。

- (1) 岡山県倉敷市にある水島臨海工業地域で、生産能率を高めるために計画的につくられた工場群を何と
いうか。カタカナ 6 字で答えよ。
- (2) 水島臨海工業地域のような臨海部で特にさかんに行われている工業を、次の[]から 2 つ選んで書
け。
[食料品 金属 繊維 石油化学]
- (3) (2)の工業が臨海部でさかんな理由について、ア～エから、正しいものを 1 つ選べ。
ア 生産に大量の水を使用するから。
イ 海外から工場で働く労働者がやってくるから。
ウ 広い工場用地を必要としないから。
エ 原燃料を運ぶ船が接岸する港があるから。

[解答欄]

(1) コンビナート	(2) 金属、石油化学	(3) エ
------------	-------------	-------

[解説]



岡山県倉敷市の水島地区は、第二次世界大戦後、埋め立てによって大規模な石油化学コンビナートや製鉄所が建設され、水島臨海工業地域として発展し瀬戸内工業地域の中心となった。

瀬戸内工業地域の石油化学コンビナートとしては、水島の他に、山口県の岩国市と周南市(旧徳山市)、愛媛県の新居浜市がある。